

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

Crédito Real, S.A.B. de C.V., SOFOM, E.N.R.（証券コード：－）

【変更】

外貨建長期発行体格付 BBB－ → LD

【クレジット・モニター指定】 【変更】

債券格付 BBB－ → #CCC/ネガティブ

MTNプログラム格付

（優先債） BBB－ → #CCC/ネガティブ

（劣後債） BB → #C/ネガティブ

■ 格付事由

- 22年2月9日に償還期限を迎えた170百万スイスフランのグローバル無担保社債の元本支払いが償還できなかったことを受けて、22年3月28日に同債券の保有者集会在招集されたが、保有者の定足数に達せず不成立に終わった。こうした状況を踏まえ、JCRは今般、外貨建長期発行体格付を「LD」とした。
- 同債券が償還されない場合、他債券に対してクロスデフォルト条項が適用となる懸念が生じていることから、債券格付とMTNプログラム格付を引き下げ、見直し方向「ネガティブ」でクレジット・モニターの対象とした。今後の動向を精査し、適宜格付に反映させていく方針である。

（担当）増田 篤・坂井 英和・上野 倫久

■ 格付対象

発行体：Crédito Real, S.A.B. de C.V., SOFOM, E.N.R.

【変更】

対象	格付
外貨建長期発行体格付	LD

【クレジット・モニター指定】 【変更】

対象	発行額（百万）	発行日	償還期日	利率	格付
8.000% Senior Notes due 2028	USD 500	2021年1月21日	2028年1月21日	8.00%	#CCC/初 ⁺ ティブ ⁺

プログラム名	Medium-Term Note Program
発行限度額	15億米ドル相当額
プログラム設定日	2020年4月20日
ステータス	（優先債）無担保・非劣後の債務で、他の優先債務と同順位 （劣後債）無担保・劣後の債務で、他の優先債務に劣後、他の劣後債務と同順位
信用補完等	優先債に対し、Crédito Real, S.A.、Creal Nómima, S.A. de C.V.（発行体の子会社）による保証
特約条項	（優先債）ネガティブ・プレッジ条項、クロス・デフォルト条項 （劣後債）劣後条項、利息の任意繰延条項
格付	（優先債）#CCC/初 ⁺ ティブ ⁺ （劣後債）#C/初 ⁺ ティブ ⁺

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年3月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：内藤 寿彦
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「消費者金融」(2013年7月1日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行者・債務者等) Crédito Real, S.A.B. de C.V., SOFOM, E.N.R.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

MTN プログラム格付：プログラム格付はプログラムに対する信用格付です。個別のノートの信用力はプログラム格付と同等と判断されるケースもありますが、クレジット・リンク・ノートやエクステンジャブル・ノートなど、元利支払いが第三者の信用状況に依存するノートなどではプログラム格付と異なると判断されることもあります。JCRでは、発行体から依頼がある場合などを除き、通常、プログラムに基づき発行される個別のノートに対する信用格付は行っていません。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル